

もしかして

認知症？に

備えよう

もしかして、もしかして
申さねば電話・FAXで



◇ 認知症という病気を理解すると本当の姿が見えてきます。

「認知症サポーター養成講座」で認知症について学び、認知症の人やその家族を地域や職場で見守り、支えるお手伝いをしませんか？

家族、友人、自分自身に「もしかして認知症？」と気になることがあったら、あなたはどうしますか？

認知症は発症しても、早期治療と適切な対応で、症状の進行を遅らせることができると言われています。早期発見のためには早めの受診がとても大切です。

認知症の初期症状や対応方法、相談機関について分かりやすくお伝えします。

とき

3月12日(月)

14:00~16:00

ところ

あいプラザ

2F 健康指導室

(廿日市市総合健康福祉センター)

(〒738-8512 廿日市市新宮1-13-1)

廿日市野村病院

認知症初期集中支援チーム

(担当:社会福祉士)

講師

木戸 友成 さん

◇ 認知症初期集中支援チームとは

認知症になっても、住み慣れた地域で暮らし続けるために、認知症の人やその家族に早期に関わることで、早期診断・早期対応に向けて支援するチームです。

本人や家族の希望を伺いながら、病院受診や介護サービスの利用等適切な支援へつなぎ、負担を軽くするお手伝いをします

切り取り不要

お申込み書(問い合わせ先)

TEL 20-0294 FAX 20-1616 (廿日市市社協:担当 酒井)

お名前

所属

電話番号

住所

※知り得た個人情報は「認知症サポーター養成講座」に関する業務以外の目的では利用しません。

主催:キャラバン・メイト廿日市地域部会